

御荘文化センター 図書室だより

発行*御荘文化センター図書室 発行日*令和3年12月1日

今年も残りわずかになりました。年末年始は図書室もおやすみになります。図書室がおやすみの日は、図書室前に置いてある返却箱に本を入れてください。

年末年始のお休みに分厚い本もゆっくり読んでください。新着図書もたくさん入っていますので、お気に入りの本を見つけて借りていってください。

今月の一般展示は年末年始に役立つ本などを展示しています。児童展示コーナーは、クリスマスを中心に絵本を集めています。

来月は、新しく始まる大河ドラマにちなんだ展示を行う予定ですので、興味のある方はぜひ手に取ってみてください。

皆様、よいお年をお迎えください。来年も御荘文化センター図書室をよろしく願いいたします。

12月

○ → 休室日

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

利用案内

【利用者カードが作れる人】

愛南町在住、在学、在勤の全年齢

※初めての貸出する方は、利用者登録をしてください。

【貸出期間】 2週間

【貸出冊数】 3冊まで

詳細は「御荘文化センター図書室の利用案内」をご覧ください。

【開室時間】 9時～17時／平日夜間開放中は20時まで

【休室日】 火曜日(火曜日が祝日の場合は、翌開室日が休室)、年末年始、選挙投票日

児童展示コーナー

「クリスマスのえほん。」

クリスマスのえほんをあつめました。



場所: ばしよ: たるな 9 えほんコーナーのたるなのうえ

一般展示コーナー

「年末年始」

年末年始に役立つ本を集めました。



場所: 図書室入口付近 新着図書コーナー裏

新着図書紹介

- 『六人の嘘つきな大学生』 浅倉 秋成
『7.5 グラムの奇跡』 砥上 裕将
『羊は安らかに草を食み』 宇佐美 まこと
『嘸みあわない会話と、ある過去について』 辻村 深月
『常設展示室』 原田 マハ
『御坊日々』 畠中 恵
『スクエア 横浜みなとみらい署暴対係』 今野 敏
『残照の頂 続・山女日記』 湊 かなえ
『歪んだ波紋』 塩田 武士
『イーハトーブの幽霊』 内田 康夫
『今日がちょっと特別な日になるヘアアレンジのルール』 渡邊 義明
『知識ゼロからの空き家対策』 杉谷 範子・名和 泰典
『緑と住む。一庭・縁側・土間・窓辺から住まいを整える』
『最新版 図解 介護保険のしくみと使い方がわかる本』
『胎児のはなし』 増崎 英明・最相 葉月
『本を読めなくなった人のための読書論』 若松 英輔
『銀河の片隅で科学夜話』 全 卓樹
『新しいおせちとごちそう料理 きちんと祝いたい』 堤 人美
『日本の食と農の未来「持続可能な食卓」を考える』 小口 広太
『夜明けの図書館 7』 埜納 タオ
『神は妄想である-宗教との決別-』 リチャード・ドーキンス
『やまと尼寺 精進日記』 NHK「やまと尼寺精進日記」制作班
『やまと尼寺 精進日記 2 ふたたびの年』 NHK「やまと尼寺精進日記」制作班
『こたつ』 麻生 知子
『かいけつゾロリの ゾワゾワゾクゾク ようかいまつり』 原 ゆたか
『池の水なぜぬくの？外来種を探すだけではない“ほんとうの理由”』 安斉 俊
『やりたいことが見つからない君へ』 坪田 信貴
『10代のための読書地図 別冊本の雑誌 20』 本の雑誌編集部



『銀河の片隅で科学夜話 ー物理学者が語る、すばらしく不思議で美しいこの世界の小さな驚異』

全 卓樹 著(請求記号：404/ゼタ)

一日の長さは一年に0.000 017秒ずつ伸びている。
500億年のちは、一日の長さは今の一月ほどになるだろう——
空想よりも現実の世界のほうがずっと不思議だ、と感じるような、
物理学者のとおきのお話を22、集めました。
真夜中の科学講座のはじまり、はじまり。
ほんのひとつき、日常を忘れて、科学世界の詩情に触れてみませんか？
科学や文学が好きな人へのプレゼントにもぜひ。

(引用「出版書誌データベース」)